

中学生用Ⅱ（税と社会について考えよう）

～Syllabus～

1. 授業の概要

歴史的背景から民主主義について学び、税の意義・役割等の租税制度を知る。現在の国の現状を知ることにより、どのような社会を目指すのか、模擬選挙を通して主権者として行動すること、納税者意識の醸成を目標とする。

2. 到達目標

- 専制政治から自分たちの自由や権利を求めて戦った税の歴史から、民主主義の始まりについて学び、自分がこの国の主人公であることを認識させる。
- 日本の財政の現状を通じ、限られた財源の中で、持続可能な社会の形成のために考えていかなければならないことを理解させる。
- 模擬選挙を通して、どのような社会にするのかを自分自身が決めるといこと(主権者として考え行動すること)を体験させる。

3. 構想

段 階	学習範囲	学習内容
導 入	<ul style="list-style-type: none">・税の歴史・民主主義の始まり・税金を決める仕組み 税の種類 「公平」と「平等」・財政について 大きな政府・小さな政府	<ul style="list-style-type: none">・税の歴史・民主主義の始まりから税について説明する。・税金を決める仕組みから、国民がルールを決めていることを知る。・「公平」と「平等」の観点から多種の税金について説明する。・現在の日本の財政の現状を説明する。・税金の使われ方について知る。
展 開	模擬選挙	<ul style="list-style-type: none">・各候補者の公約を聞き、他人の意見に耳を傾けながら、自分で考え行動する。
まとめ	国民としての自覚	<ul style="list-style-type: none">・主権者である国民として、どのように行動していくのか、考えることの大切さを伝える。

4. 展開（タイムスケジュール）

項目	内容	時間
<挨拶・自己紹介> <ul style="list-style-type: none"> ・税理士の仕事 ・今日の学習内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、税理士の職業紹介、申告納税制度とは。 ・これから行う授業の概要を説明する。 	5分
<税の歴史・民主主義の始まりから税について考える> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の税の歴史 ・アメリカ ポストン茶会事件 ・税金を決める仕組み ・税の種類 ・「公平」と「平等」 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の税の歴史（江戸時代以前の専制政治） ・日本の税の歴史（明治・大正時代以後） ・世界の税の歴史（民主主義の始まりのきっかけ） ・歴史的背景から税に対する考え方が変わってきたことを理解させる。 ・現代の税金のしくみについて説明する。 ・クイズで双方向授業になるよう心掛ける。 ・税金の種類から「平等」と「公平」について説明。 	18分
<日本の財政の現状> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入・歳出・公債残高 ・大きな政府・小さな政府 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の現状を知り、これからの解決策を考えていく必要性を説明する。 ・国によって決められた税のしくみがさまざまであることを説明する。 	7分
<模擬選挙> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙 ・二人の候補者の主張を聞く ・投票しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・二人の主張を聞くことにより、税負担の方法と税金の使い道について主権者として考え、行動する。 ・他の人の意見を聞いてみることにより、新たな発見を感じることを体験する。 	15分
<今日のまとめ>	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の一員として、一人一人が税金について関心を持ちながら考えてゆくことの大切さを自分の言葉で伝える。 	5分